

法人（事業所）理念		生まれたすべての人が役割を自覚し、真の幸せを追求できる社会を目指す											
支援方針		①自主性を重んじ、就労へ向けてひとりひとりの力を伸ばす ②やりがいと生きがいを持って生活する ③協力し合える関係性づくり											
営業時間		登校日 休校日	12 9	時	30 00	分から	17 15	時	00 30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	活動を通して睡眠、食事、排泄、衣服着脱等の基本的な生活スキル獲得、生活リズムの形成を支援します。 公共交通機関の利用、買い物、調理、清掃、施設の利用など生活面の自立の向上を目指します。また、活動を通し自己肯定感や自尊心を高めていきます。											
	運動・感覚	自分の好きなことや得意なこと、挑戦してみたいことをアート作品として表現し、想像力や表現力、個性を伸ばしていきます。 パソコンなどの手指を活用とした運動から、体幹トレーニングやスポーツなどの身体を活用した運動と仕事の体験を行い、スキルアップや体力向上などを支援し、社会に出た際の準備に繋げていきます。											
	認知・行動	活動を通して触覚、聴覚、視覚など様々な感覚を活用し、認知機能向上を図る支援を行います。 個々の特性や認知機能の偏りに配慮しながら、こだわりや情報処理が適切にできるように支援を行います。 お金の概念や時間への理解を深めていきます。											
	言語 コミュニケーション	SSTを通じて、言葉遣いや言葉での自己表現、報告・連絡・相談などの就労へ向けたスキルの獲得を目指します。 プリント学習や日記などを通じて読み書き、計算などの支援を行います。											
	人間関係 社会性	社会との接点の機会を多く作り、人との関わりや就労体験など様々な経験を積み重ね、仲間と共に過ごす・働くことへの理解や意欲を引き出していきます。 また、手順やルール、マナーなどの社会で大切なことを身につけていきます。											
家族支援		利用者の活動時の様子や課題、気づきなどについて保護者と情報共有し合い、その後の支援に反映し、課題の軽減・解決に取り組んでいきます。							移行支援		進学・卒業後のライフステージ切り替えが円滑にいくように学校や保護者、関係機関と連携し、情報共有を密に行いながら支援していきます。		
地域支援・地域連携		利用者が地域の社会資源を包括的に活用し、適切な支援を受けることができるように学校や関係機関、他の福祉サービス事業所との連携強化を目指します。							職員の質の向上		定期的なミーティングを行い、利用者の情報共有や支援内容方法を検討し、支援向上を図ります。 研修に参加し虐待防止や家族支援などについて学びます。		
主な行事等		・あつぱる作品展 ・卒業イベント・おたのしみ会 ・季節の行事 ・就労体験 ・地域交流 ・卒業生との交流会 ・親子交流会＆保護者会 ・社会学習（水族館、動物園、工場見学、公共交通機関の利用体験など） ・食育体験・アート展鑑賞・BBQ・沢遊び体験											